

調査団体名	岐阜県立岐阜高等学校自然科学部生物班	団体代表者名	高木雅紀
活動地域	岐阜県内	団体URL	http://school.gifu-net.ed.jp/gifu-hs/
<p><活動内容></p> <p>岐阜県内に生息する身近な生物を対象として、部員たちは日々フィールドでの調査、研究活動に励んでいる。これまで、希少な淡水二枚貝の生息調査、東海地方にのみ生息するトウカイヨシノボリの産卵行動や生息状況、希少なタカチホヘビの捕食行動の特性などについて明らかにしてきた。平成18年度(2006)からは、岐阜県内で2カ所しか生息が確認されていないカスミサンショウウオの保護を中心に活動を展開している。カスミサンショウウオの生息地では、産卵場所の水涸れや農薬の流入などによって個体群が危機的な状況にある。そのため、発見した卵のうと幼生を保護し、変態間際まで飼育して放流を行っている。また、水涸れを防ぐための遮水シート埋め込み作業やカスミサンショウウオの生態の基礎的資料を得るためにマイクロチップによる個体識別を行っている。平成20年度(2008)には岐阜県河川環境研究所の指導を受け、岐阜市及び揖斐川町に生息するカスミサンショウウオの地域集団内の遺伝的多様性の解析を行った。</p>			
<p><連携している団体・専門家・自治体など></p> <p>岐阜県河川環境研究所、岐阜県地球環境課、岐阜県世界淡水魚園水族館 アクア・トトぎふ、岐阜市自然共生部自然環境課、岐阜大学地域科学部地球環境講座向井研究室、岐阜大学応用生物科学部獣医学課程獣医微生物学研究室、京都大学大学院人間・環境学研究科松井研究室などと連携をとりながら、調査、研究、保全活動を続けている。</p>			
<p><今までに行った調査・研究></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「岐阜市内の魚類の生息状況の調査」 ○「岐阜市に生息する絶滅危惧種カスミサンショウウオの卵のう及び幼生の保護活動」 ○「岐阜県揖斐郡揖斐川町のカスミサンショウウオの生息状況、産卵状況の調査及び、保護活動」 ○「岐阜県内に生息するカスミサンショウウオの遺伝的多様性についての解析」など 			
<p><現在直面している課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ○多いときは1,000匹以上のサンショウウオ幼生を保護することもあるため、餌の確保が大変。 ○部員数が少なく、人数が不安定なことから、今後の継続性が問題。 ○高校生なので車の免許がなく、調査地までの移動手段を先生に頼っている。 ○調査、研究、保護活動に使う費用や交通費の問題。 			
<p><今後どんな情報が必要か></p> <p>他の団体が行っている活動についてもっと知りたい。また、自分たちも岐阜県の素晴らしい自然環境について情報発信していきたい。</p>			
			
岐阜高等学校自然科学部生物班の部員		卵のうと幼生を保護する	



産卵場所の水涸れを防ぐため遮水シートを埋め込む



遮水シートの埋め込み作業



産卵場所が完成！



保護したカスミサンショウウオの卵のう